

(このマニュアル内のメールアドレスの*は@に変換すること)

緊急時連絡先:リエゾンラボ 502 号室(096-373-5786)

発生研管理室(096-373-6078 or 当直 090-1169-8181)

発生研全員+センター事務 all-imeg*kmm.kumamoto-u.ac.jp

災害発生直後の構内避難場所：本荘中地区の中央スペース(4 施設の中央)

1. 大地震発生時

- 発生時は、机などの下に隠れ、まずは自分の身を守る。
- 揺れが収まったら、身近にある物についてのみ対処。危険な実験機器の電源 OFF、都市ガス元栓を閉める（大きな揺れでは自動停止する）、炭酸ガスボンベを根元から閉める。
- 声をかけあって怪我人や火災がないことを確認。**次の大きな揺れが必ずすぐ来るので、階段を使って屋外に避難。構内避難場所へ。**
- ラボごとに集合し点呼、負傷者、不在者の確認。
- その場に居合わせたメンバーの中で**責任者（教員・技術職員等）を決め、**情報を集中させる。
- 怪我人、建物、機器、火災の問題がクリアされたら、責任者は、帰宅か避難所への移動かを判断する。**状況を所長及び発生研全員+センター事務にメール（上記）で連絡し、**同メールで建物への立ち入り制限を発令する（安全優先、不要な立ち入りを防ぐため、迷ったら発令する）。
- 技術職員は緊急用 PC（全員の連絡先、メール文（和文、英文）のひな形を事前準備）を携帯して避難し、情報発信を担当する。
- 各自は水、食料、宿泊場所を確保（支援が届くまで 3 日かかる）

負傷者発生時

- 119 番通報→責任者に報告
- 自動体外式除細動器(AED)：玄関ロビー 救急箱：1 階&5 階ラウンジ

火災発生時

- 大声で周囲に知らせ、協力を仰ぐ。
- 非常ベル→119 番→初期消火→無理せず避難→責任者に報告

翌朝（揺れが収まってきたら）

- 管理室とともに、複数で建物内の初期確認を行い（炭酸ガス漏れに注意）、立ち入り制限の継続・解除を判断。管理室を通して専門業者による倒壊の危険度判定を実施。
- 緊急対策本部を 1 階カンファレンスルームに設置（発生研はこの部分のみ 1 階建てのため）。コアメンバーは所長、副所長、技術職員、管理室。PI、助教以上の教員を招集。
- 水、電気、ガス、建物（床下の漏水、漏電も）、機器（停電復旧時の通電火災に注意）、炭酸ガス、液体窒素を確認。緊急電源は約 20 時間持続する。
- 技術職員から所員全員にメールで情報提供、安否を PI に報告するよう要請→PI は研究室メンバーの安否をセンター事務及び緊急対策本部に報告。全学の安否確認システムからもメール配信されるので、併用する。
- ホームページから情報発信 <<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>>
建物内へ立ち入り不可の場合は発生研 Facebook 利用。web 上で「facebook 発生医学」で検索

2. 風水害(台風・大雨による洪水) 発生時

- 技術職員が館内放送あるいはメールで情報・指示を連絡
- 研究室ごとに人員確認。
- 自宅にいるものは無理をせず待機。所在場所をPIに連絡する

● 緊急対策本部（緊急時は1階カンファレンス室に設置）

コアメンバーは携帯電話番号を共有すること

所長 西中村隆一 [096-373-6615] <ryuichi*kumamoto-u.ac.jp>

副所長 中尾光善 [096-373-6800] <mnakao*kumamoto-u.ac.jp>

技術職員 関丘 <tseki*kumamoto-u.ac.jp> 臼杵慎吾 <usu*kumamoto-u.ac.jp>

谷直紀 <naotani*kumamoto-u.ac.jp> [096-373-5786]

管理室(ファビルス) [096-373-6078] [当直 090-1169-8181] <hasseiken2006*cap.ocn.ne.jp>

生命科学系事務ユニットセンター事務チーム [096-373-6637] ※緊急時、教職員の安否確認連絡先はここ

● 緊急時の連絡先

救急：熊大病院 防災センター[096-373-5917]

熊大病院 外来担当（時間内 8:30～17:15）[096-373-5972]

熊大病院 時間外受付（時間外 17:15～8:30）[096-373-5996]

熊本地域医療センター[096-363-3311]

ガス：西部ガス(株) [096-355-1241] ガス漏れ[096-325-0919]

水道：熊本市水道局 [096-361-5448] 漏水[096-361-5555] 漏水時間外[096-361-5590]

電気事故：九州電力(株) 熊本営業所 [0120-968-604]

漏電：電気保安協会熊本支部 096-364-5188

液体窒素：内村酸素 096-237-4411 （供給不能の場合はIBBPへ連絡）

大学連携バイオバックアッププロジェクト（IBBP）0564-59-5930 ibbp*nibb.ac.jp

ファビルス本社 [096-325-4722]

● 避難場所

一時避難場所：本荘小学校（中央区本荘6丁目5-47）。広域避難場所：代継橋下流左右岸（中央区本荘3・5丁目）。2016年熊本地震の際には、保健学科と薬学部にも避難所が設置された。



●インターネット・携帯電話の災害用伝言版

NTT docomo https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/	au http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/	Softbank http://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/
		

●日常で準備・確認しておくこと

熊本市災害情報メールへの登録 https://www2.fastalarm.jp/kumamoto/htdocs/	熊本市ハザードマップ(洪水・高潮・地震) ダウンロードしておく http://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=2121
	

●避難場所について

熊本市が指定する避難場所は以下のサイトで確認しておく。

熊本市中央区管内の一時避難場所一覧 http://www.city.kumamoto.jp/locc/pub/default.aspx?c_id=16	熊本市の広域避難場所一覧 http://www.city.kumamoto.jp/locc/pub/default.aspx?c_id=15	世継橋の水位メーター http://urx.blue/ydTL
		